

rotork®

Keeping the World Flowing
for Future Generations

サプライヤー行動規範



改訂管理

改訂履歴

改訂第3.0

作成者	確認者	承認者
Tim Martin Victoria Silvey	Aidir Parizzi	Board of Directors

文書管理

文書管理声明

本文書はRotork PLC（以下「ロトルク」といいます）の資産です。本規約は、ロトルクグループの全会社（以下「ロトルク」という）に適用されます。

文書の分類、保管、取り扱い

本文書は対外広報用であり、公開文書に分類されます。本分類は、ロトルクと直接関係があるかどうかにかかわらず、誰とでも共有できる情報を対象としています。本方針は、ロトルクのウェブサイトで公開されています。

文書の配布と維持管理

グローバルサプライチェーンは、本方針の配布及び維持管理責任を負っています。本方針の最新版に関する明確な指針は、ロトルクのウェブサイトを通じて通知され、旧バージョンの方針は保管されます。利用者は、最新版が発行された際に確認し、修正が行われた場合は修正版を遵守して下さい。

範囲

本サプライヤー行動規範は、ロトルクグループの全会社（以下「ロトルク」という）に商品またはサービスを提供するすべての第三者に適用されます。これには、すべてのサプライヤー、請負業者、相談役、仲買人（総称して「サプライヤー」）が含まれますが、これらに限定されません。

はじめに

ロトルクは、自社、自社の株主、顧客、自社のサプライチェーンで業務に携わる者、自社地域社会、そして環境のために、自社グローバルサプライチェーンで生み出される利益を最大化することを目指しています。ロトルクは誠実さ、公正な取引、倫理的行動において高評価を得ています。当社はその評価を維持し、世界中のどこで事業を行う、または稼働するかによらず、当社が利害関係者に好影響を及ぼし、価値を創造することを決意しています。

ロトルクには行動規範があり、その行動規範は**ロトルクのウェブサイト**で公開されています。当該行動規範では、正社員、派遣社員、請負業者を含め、ロトルクの代理で活動する者に期待される行動基準が定められています。当社は、全員が常に当該行動規範に従って、誠実に行動することを期待しています。

当社のサプライヤー行動規範では、当社サプライヤー及び当社サプライヤー自らのサプライチェーンの倫理的価値観と行動に関する当社の中核的期待事項を規定しています。

サプライヤー行動規範

当社は、すべてのサプライヤーが誠実、公正かつ誠意をもって事業を行い、本サプライヤー行動規範に定める中核的行動様式及び価値観に従うことを期待しています。また、ロトルクはサプライヤーが、サプライヤー自らのサプライチェーンに、ロトルクのサプライヤー行動規範内の原則及び基準と同等以上の厳格な原則及び基準を適用することを期待しています。

本サプライヤー行動規範は、機会均等の促進、人権、結社の自由、労働者の権利、環境への適切な取組み、贈収賄と汚職に対するゼロトレランスアプローチなど、倫理的行動と適用法の遵守に関する当社の期待を記述したものです。本サプライヤー行動規範は全世界のサプライヤーに適用され、11カ国語に翻訳されています。ロトルクはまた、サプライヤーが自らのサプライチェーンにロトルクの規範を適用することを期待しています。

ロトルクは、サプライヤーがSA8000やISO26000などの社会的説明責任基準に従って活動し、これら基準により与えられた定義を用いて自社プログラムを設定することを奨励しています。さらに、サプライヤーが社会問題、倫理的問題及び環境問題に関してオープンかつ建設的な姿勢でロトルクと関わり、全分野において継続的改善を図ることを期待しています。

コア・バリュー

当社は、貴社及び貴社の代理で業務を行う者が、当社のサプライヤーとして、当社行動規範で定められた中核的行動様式及び価値観に従って行動し、違法または非倫理的な行動を慎むことを期待しています。

コアバリューには以下が含まれます。

- すべての適用法を遵守すること
- ロトルクの現場、顧客の現場、あるいは貴社自らの現場での作業時に、全員にとって安全な環境を作り出すため、貴社事業に係る安全衛生上のリスクを合理的に実現可能な水準まで低減し、ロトルクの基準と同等以上の厳格な安全基準に従うこと
- 人種、性別、国籍、宗教、性的指向、性同一性または性表現、退役軍人の身分、市民権の状態、遺伝情報、婚姻の有無、妊娠または家族の状態、障害、年齢、または適用法により保護されるその他の特性による差別をせず、信頼、尊厳、尊敬をもって他者に接し、いじめやハラスメントに対するゼロトレランス方針を運用すること
- 自社の事業およびサプライチェーンにおける人権の保護と推進を支援し、人権侵害に加担しないこと
- 国の最低要件以上の賃金と手当を支払い、該当する場合は労働時間規制を遵守するなど、公正な労働条件を確保すること
- 児童労働、強制労働、またはその他の形態の奴隷や隷属を決して使用せず、貴社のサプライチェーンが斯かる慣行に習わないう真摯に取り組むこと（貴社サプライヤーのうち、斯かる慣行があることが判明した、またはその疑いがあるサプライヤーを直ちに解雇することを含む）

- 干渉、差別、報復、ハラスメントのない結社の自由と、団体交渉権の事実上の承認を支持すること
- ロトルクおよび第三者の機密情報を保護し、許可された場合にのみ、適切な管理下で共有すること
- サイバーセキュリティに関する適切な方針と手順を実行し、サプライヤー契約に定められている最低限のセキュリティ要件または認定要件を満たすこと；
- どのような形式であれ、慎重且つ、適用されるデータプライバシー法に従って個人情報を収集・処理し、不要になった場合は保有する情報を削除すること
- 強要、贈収賄、汚職に対するゼロトレランス方針を運用し、直接であるか第三者を通じてであるかにかかわらず、また文化の違いにかかわらず、いかなる形であれ、賄賂やキックバック（ファシリテーションペイメントの申し出や受領を含む）の申し出、支払い、要求、受領を決して行わないこと
- ロトルク従業員への贈答品や接待を控えること。ロトルクには贈答品および接待に関する方針があり、社員はこれに従うことが義務付けられています。この方針では、等価ではないものの、及び高価な贈答品および接待の受領を禁止しています；
- 家族、ビジネス、またはロトルクの現従業員、競合他社または顧客との個人的な接点など、ロトルクとの取引に影響を及ぼす可能性のある利害対立をロトルクに申告すること；
- 公正な競争および、ロトルクまたはその競合他社との取引において入手する可能性のある非公開情報の保護に関連するすべての適用法および規制を遵守すること
- 適用されるすべての制裁法、関税法及び国際貿易法を遵守し、サプライチェーン全体を通して、商品、情報、プロセスを盗難、改ざん、その他の混乱から守る強固なサプライチェーン安全保障対策を実施すること
- 要求に応じて、適用される関税、貿易および表示要件に従い、すべての製品について明確で、正確かつ検証可能な原産国の詳細を提供すること
- マネーロンダリング防止法を遵守し、マネーロンダリング行為への関与や当該行為の支援を特定・回避するための措置を講じること
- 脱税補助に対するゼロトレランスアプローチを運用すること
- 製品の検査および試験書類を含め、貴社事業とロトルク間の取引に関する正確、適時かつ完全な業務記録を保持すること
- 適用されるすべての製品安全・品質基準、認証、法律、規制を網羅し、最新版ISO9001の要求事項を満たす品質管理システム（QMS）を維持し、適合の証拠となる文書記録を保持することにより、ロトルクに提供するすべての製品およびサービスが安全且つ、高い品質基準を満たしていることを保証すること
- すべての製品が、REACH、RoHS、PFAS、および類似の法規制を含む、適用される製品安全、環境、および化学規制に準拠していることを保証し、必要に応じて準拠証明書を提供すること；

- 最低限、適用されるすべての環境法、規制及び行為準則を遵守しながら、資源の効率的な利用、強固な汚染防止対策、再生可能エネルギーの利用拡大を通して、高基準の環境管理を達成すること
- 温室効果ガスプロトコル(<https://ghgprotocol.org/>)に従い、貴社事業の運営に伴う温室効果ガス排出量を計算・報告すること。また、公開企業報告書やCDP(<https://www.cdp.net/>)などのプラットフォームを通じてロトルクにそれを開示すること
- ロトルクの紛争鉱物に関する方針（**当社ウェブサイトにて複製の入手可**）を遵守し、紛争の資金源となる鉱物を故意に調達しないこと。

さらに、当社は、貴社が、持続可能性に対する役割を明確にしたガバナンス構造を確立し、調達を含む持続可能な慣行の遵守を後押しすることを奨励しています。

また、当社は、貴社が実践状況を定期的に報告し、当社がその下層サプライチェーンの位置づけを把握する手助けを行うことにより、透明性を高め、サプライチェーンのリスクとレジリエンスを改善することを奨励しています。

監査

ロトルクは、本サプライヤー行動規範の遵守を監視するため、サプライヤーの拠点を訪問・検査する権利を有し、当社サプライヤーとして活動することにより、ロトルクがこれを行うことに同意したものとみなします。サプライヤーは有意義な監査が行えるように、透明性をもって行動すること、及びロトルクが自社拠点に立ち入り従業員に接触できるようにし、協力することが期待されています。状況によっては、サプライヤーは、自らのサプライヤーに対して同様の監査を実施することが期待される場合があります。

懸念事項の報告

ロトルクには、オープン且つ説明責任を果たす文化があります。当社は、行動規範の価値観と原則を支持し、問題や懸念があれば提起します。また、サプライヤーが同様に行動することを期待しています。通常のロトルク側連絡窓口にご相談することで、問題や懸念を提起することができます。あるいは、相談が難しい場合は、独立第三者が主催し、24時間365日利用可能なスピークアップ・ヘルプラインの詳細など、当社のスピークアップ・ポリシーに懸念を提起するさまざまな方法を記載しております。このヘルプラインでは、安全な方法で、匿名で、ご希望の言語で、懸念事項を報告することができます。

ロトルクは報復行為に対してゼロトレランスの方針をとっています。不正行為の可能性を報告することは、適切な行為であり、通報者は報復から保護されます。報復に関する懸念は、グループ法務顧問兼会社秘書役、最高人事責任者、または倫理・コンプライアンス部門責任者に報告してください。

ロトルクの「Speak Up」ポリシーは、ロトルクのウェブサイト（[こちら](#)）でご覧いただけます。

原則に基づくアプローチ

サプライヤーは、倫理およびコンプライアンス上の問題が発生した場合、本サプライヤー行動規範に定める価値観と行動様式に従って行動する必要があります。これらサプライヤー行動規範の原則は、ロトルクのビジネス手法の基礎となるものです。しかし、本サプライヤー行動規範は、倫理的問題が発生する可能性のあるすべての事例を想定することは不可能ですが、ロトルクが貴社に期待する倫理的で責任ある事業活動のあり方や、貴社の事業活動で求められる誠実さ、正直さ、透明性を強化することを目的としています。

倫理的判断の方法に関する指針は、行動規範の6ページに記載されています。

ロトルクは、本サプライヤー行動規範の年次コンプライアンス証明書という形式で追加保証を要求する権利を有し、要求された場合はこれを提供するものとします。

ロトルクは、サプライヤーが本サプライヤー行動規範の文言または精神のいずれかを遵守しなかったと合理的に判断した場合、当該サプライヤーとの契約を直ちに解除する権利を有します。



Global Supply Chain
Logistics & Distribution
Contact: 1-800-555-1234
www.dryden.com

rotork®

今すぐお問い合わせください

mail@rotork.com

www.rotork.com

PUB000-410-00

発行 05/25